

The Women's Studies Association of Japan

発行 日本女性学会
事務局 〒272-0023
千葉県市川市南八幡1-16-24
TEL 047-370-6068
FAX 047-370-5051
ホームページ
<http://www.joseigakkai-jp.org/index.htm>

学会ニュース

日本女性学会
第121号 2011年2月

目次

次回大会予告……………	1	研究会のご案内……………	5
個人研究発表・ワークショップ募集について…	1	会員の著作……………	5
大会シンポジウム趣旨説明……………	2	幹事会承認に関するお知らせとお願い……	5
幹事会議事録……………	2	会員情報……………	別紙

次回大会予告

会場：岩手大学総合教育研究棟

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8 019-621-6006 (代表)

JR盛岡駅からタクシーで10分、または路線バスで「岩手大学前」下車徒歩0分

大会シンポジウム：

「ワークライフバランス」「子ども手当」はジェンダー平等社会へつづく道なのか？
～ライフスタイルに中立な社会政策を考える

大会日程 (予定)：1日目 6月4日 (土) 14時～16時半《個人発表》
(終了後、総会、懇親会)

2日目 6月5日 (日) 9時半～11時《ワークショップ》
12時～16時《大会シンポジウム》

保育の必要な方は、詳細は次号をご覧ください。

個人研究発表とワークショップ申し込み受付について

タイトルと発表の概要 (200字程度)・発表の 카테고리 (個人研究発表、個人研究発表：パネル報告、ワークショップのいずれか)・発表時に使用する機材 (機材は希望にそえない場合があります) を記載して3月25日までに、ニュースレター担当の青山薫・西倉実季までメールでお申し込みください。受信トラブルを避けるため、両名にお送り願います。

「ワークショップ」は、参加者との協同作業でテーマを発展させていく取り組みであり、個人研究発表とは性格の異なるものです。「個人研究発表」は、共通テーマでパネル応募も可能です。人数は3名以上とします。各発表時間については、公平な配分および質問の時間を十

分とることに留意いただき、時間配分、司会者などを申込者で設定してください。なお、発表者・グループのうち少なくとも1人は会員であることが必要です。

今年度、個人研究発表・ワークショップは第1日目になっています。ご注意ください。

大学院生、非常勤講師等への旅費補助について

ワークショップ、個人研究発表をされる方で、学生、院生、OD等、常勤職についておられない方には、学会より旅費の補助を行います (総額10万円を人数と距離に応じて配分しますので、補助金額は未定です)。希望される方は、報告申込の際に、「旅費補助希望」と明記してください。

大会シンポジウム

「ワークライフバランス」「子ども手当」はジェンダー平等社会へつづく道なのか？ ～ライフスタイルに中立な社会政策を考える

シンポジスト：萩原久美子・下夷美幸・千田有紀
コーディネーター：北仲千里

趣旨説明

民主党政権になって、子ども手当で創設や配偶者控除廃止の方向性など、社会保障や家族政策にも少し変化がみられるが、いったいこれらは、ジェンダー平等や多様なライフスタイルの尊重という視点から見たときに、どう評価されるべきなのか。

また、男女共同参画大臣は「少子化大臣」と報道では略されてしまうほど、「少子化対策はよいこと」であり、「社会の緊急重要課題」というとらえかたが多いように思われる。これまで、婚姻制度やジェンダー平等の問題

が政治の場では中心的な論点にならないままであったにもかかわらず、近年、少子化問題だけがにわかに関心各党の「重要政策」になってきた。そして「イクメン」が流行語になり、「ワークライフバランス」が称揚され、子育て支援が関心と呼ぶ中、公的「お見合い」事業までが展開されている。

日本の家族に関する社会政策は、今後、どういうものを目指すべきなのだろうか。行きつく先が見えにくい民主党政権の政策の行方が見えにくい今こそ、この問題についてじっくり考えてみたい。

メールニュースについて

メールニュースは学会員のみなさまに有用な情報を不定期にお届けしています。是非ご登録ください。配信ご希望の方は担当者までお申し込みください。

また、送信を希望される情報がございましたら、ご投稿お願いいたします。原稿は他のメールから引用の形で転送するのではなく、直接お書きください（配信依頼が立て込むと配信が数日おくれることもあります。ご了承ください）。

送信ができずメールが戻ってくる方にはご連絡を差し上げております。ご連絡から1年間お返事の無い方は配信停止とさせていただきます場合があります。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。また、アドレスを変更された方は速やかにお届け願います。お申し込みをされているのに届いていない方がおられましたらご連絡願います。

メールニュース担当／荒木菜穂

会員の著書紹介

以下のルールで会員のみなさまの著作を紹介しませう。掲載ご希望の方は、ニュースレター担当者までご連絡ください。

- ・ 会員が執筆・編集している単行本（分担執筆含む、雑誌をのぞく）
- ・ 1年以内の発行物
- ・ ご本人の申し出があったもの
- ・ 寄贈は条件としない

ニュースレター担当
青山薫
西倉実季

お知らせ

「お知らせ」欄は幹事会および会員等からの公共性の高い情報を掲載します。

掲載希望はニュースレター担当者までご連絡ください。

ニュースレター担当
青山薫
西倉実季

会員主催研究会募集

日本女性学会は会員主催の研究会に対し以下の応募要件にしたがって補助金助成をおこなっています。

〈応募要件〉

- ・ 研究会の趣旨が女性学会の趣旨に適っているもの
- ・ 少なくとも会員に対して、公開の研究会であること
- ・ 研究会のタイトル、趣旨、企画者（会員個人・会員を含むグループ）、開催場所、開催日時、研究会のプログラム、全体の経費予算と補助希望額（2万円以内です）が決定していること（未決定部分は少ないほど良いのですが、場所・プログラム・経費については予定＝未決定の部分を含んでも結構です）
- ・ 学会のニュースレター・ウェブサイトに載せる「研

究会のお知らせ」の原稿（25字×20行前後）があること（研究会の問い合わせ先を明記する）

- ・ 研究会終了後、実施報告文を学会のニュースレターとウェブサイトを書いていただきます（補助費はこの原稿提出後に入金いたします）
- ・ 学会総会での会計報告に必要なため、支出金リストと、総額での企画者による領収書を提出すること
- ・ 申し込みは、広報期間確保のため原則として開催の3ヵ月前までに、研究会担当幹事までお願いいたします。詳細のお問い合わせも、研究会担当幹事まで。

研究会担当
千田有紀
堀江有里

幹事会承認に関するお知らせとお願い

去る2010年6月の総会にて、選挙管理委員会より第16期幹事会の選挙結果をご報告させていただきましたが、本来ここで、委嘱幹事の紹介をしたうえで出席会員のみなさまよりの「拍手にて承認」を頂戴しなければならないところ、この手順を失念していたことが、出席会員の方のご指摘によりわかりました。選挙結果のご報告のみで、手続きを終えたものと誤認してしまいましたことを、会員のみなさまに、深くおわび申し上げます。

学会運営が長年、さまざまな試行錯誤を重ねつつ行われてきたため、幹事会・選挙管理委員会等の職

掌に不明確な部分があったことが原因です。幹事会の職掌については、第14期以降マニュアルの整備を進めているところでありましたが、今後一層、学会運営に関する各組織の職掌の明確化を進め、再発防止に努力するとともに、第16期幹事会の発足につきまして、今年6月の総会にて、あらためて会員のみなさまのご確認を、お願い申し上げます。

どうか会員のみなさまのご理解をたまわりたく、ここにお願い申し上げます。

第16期幹事会代表幹事 海妻径子

会員の著作

- ・杉本貴代栄編著『女性学入門—ジェンダーで社会と人生を考える』ミネルヴァ書房、2010年10月、2,625円（山口佐和子が、「第8章困難を抱える女性と社会福祉」、「第12章セクシュアリティの多様性」を執筆）
- ・金井淑子著『依存と自立の倫理 「女／母（わたし）」の身体性から』ナカニシヤ出版、2011年1月、2,730円

研究会のご案内

2011年大会シンポジウム プレ研究会

大会シンポジウム『『ワークライフバランス』『子ども手当』はジェンダー平等社会へつづく道なのか?』のパネリストにお出でいただき、シンポジウムに向けた準備の研究会を開催します。どなたでも参加できます。資料等準備の都合上、参加希望者はなるべく事前に研究会担当幹事までご連絡ください。

日時：2011年3月13日（日） 13時～15時

場所：大正大学1号館〔正門を入ってすぐの右手の建物〕2階 大会議室〔階段またはエレベータの左手〕

所在地：東京都豊島区西巣鴨3-20-1

- ・都営地下鉄三田線 西巣鴨駅下車 徒歩2分
- ・埼京線 板橋駅東口下車 徒歩10分
- ・都電荒川線 新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩7分

詳しいアクセスは、http://www.tais.ac.jp/other/access_map/access_map.html をご覧ください。

研究会担当：千田有紀
堀江有里